

森林環境保全センター 平成九年度業務予定

保全センターは、屋久島の国有林の貴重な森林環境を適切に保全・利用するため、①世界遺産の保護を推進する事業等、所長以下八名の職員で行っています。今年度も弥生スギ等の保護措置や、ヤクスギランドの荒川橋の架替え等を行っていく予定です

①世界遺産保護等

◎世界自然遺産保全緊急対策
昨年に引き続き、登山者等の入り込みによる生態系(植生・水質等)への影響を調査し、必要な植生回復措置や、弥生スギ等の著名スギの樹勢回復措置を行います。

◎モニタリングの実施

森林植生の永久プロット降雨量、水源森林の水質について引き続き調査します。

◎シヤクナゲの保護増殖事業
屋久島環境文化財団と共同で継続して実施します。

②治山事業

◎復旧治山
谷止工三箇所、山腹工一箇所を新たに実施するほか、昨年の二一号台風の災害復旧工事(谷止工三箇所)を継続して実施します。

◎重要自然維持地域保安林整備事業
ヤクスギランドでは荒川橋の架替え、白谷雲水峡では東屋等を設置します。

◎森林教育等の業務
森林環境整備推進協力金

◎自然休養林で入林者から協力金の拠出をお願いして休養林の整備等に活用します。



ヤクスギランド 沢津橋完成!

このほど、重要自然維持地域保安林整備事業により、ヤクスギランド内の沢津橋を、これまでの位置から約60m下流へ架け替えました。新しい沢津橋は、全長50mで橋台等の施工にアースアンカー方式を取り入れ、自然

◎広報、年報の発行

本誌「洋上アルプス」及び年報(八年度)を発行し、島内外に広く情報を発信します。

◎森林についての普及啓発

森林教室の実施、資料室の自由閲覧等を行います。

◎森林パトロール

自然遺産地域を中心に、自然保護の啓発等のための巡視を行います。

著名屋久スギ 穂木採取終了

平成七年度から実施してきた屋久スギの穂木採取が三月に終了しました。

これは、農林水産省ジーンバンク事業により、林木育種センター九州育種場と共同で実施したもので、縄文スギ等著名な屋久スギ十五個体について、穂木を採取しました。



お知らせ

写真展の開催

環境文化財団との共催で、「屋久島林業史写真展」を、環境文化村センター交流ホールで四月三十日まで開催しています。ぜひご覧下さい。

白谷雲水峡再開

昨年の台風により通行止めだった県道白谷雲水峡宮之浦線が、四月一日より開通し、白谷雲水峡も再開しました。皆様のお越しをお待ちしています。

保全センター 人の動き

四月一日付転出
高千穂署 総務課長
大寺 義宏(専門官)
宮崎署 屋敷森林官
河本 正人(所員)
四月一日付転入
専門官(総合調整担当)
山本 満久(森林技術
総合研修所)

お世話になりました

大寺 義宏
世界遺産の島、屋久島での生活は公私ともに大変充実したものでした。また、地域の方々とのふれ

屋久島の植物



アセビ(馬酔木) つつじ科

本州以南に分布する常緑低木で、屋久島が分布の南限。樹高は二〜九m、葉は互生し長さ三〜八cmの倒披針形で革質、白い花は、釣鐘型や房状で、ヤクスギランドから上の林道沿いは今が満開、五月までは見られそうです。馬酔木とは、馬がこれを食べた酔った様になったところから付いた。

あいや、言葉では言い尽くせないほどの思い出は、私の一生の宝になりました。転任に当たり、心から御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

河本 正人

四月一日付の移動により、宮崎管轄屋敷森林事務所へ転任となりました。

屋久島での生活は二年間の短い期間でしたが、世界遺産の島で自然と共に仕事が出来たことは、私にとって良き思い出となりました。

今後も保全センターが、地元から期待される組織として益々活躍されることをお祈りいたします。